

製品名: G-CSFR ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11371**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	92kDa

抗原情報

遺伝子名	CSF3R
別名	CSF3R; GCSFR; Granulocyte colony-stimulating factor receptor; G-CSF receptor; G-CSF-R; CD114
遺伝子 ID	1441.0
SwissProt ID	Q99062
免疫原	抗血清はヒト CSF3R の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 321-370

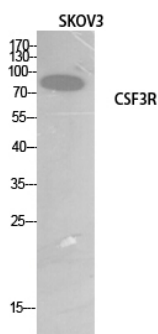
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、顆粒球の産生、分化、および機能を制御するサイトカインであるコロニー刺激因子3の受容体です。コードされるタンパク質はサイトカイン受容体ファミリーの一員であり、細胞表面への接着や認識プロセスにも機能する可能性があります。選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが報告されています。この遺伝子の変異は、コストマン症候群（重症先天性好中球減少症とも呼ばれる）の原因となります。[RefSeq 提供、2010年8月]、代替製品：追加のアイソフォームが存在するようです。一部のアイソフォームについては実験的確認が不足している可能性があります。、疾患：CSF3Rの欠陥は、一部の患者において重度の先天性好中球減少症 (SCN) の原因となる可能性があります。、ドメイン：ボックス1モチーフは、JAKとの相互作用および/または活性化に必要です。、ドメイン：WSXWSモチーフは、適切なタンパク質フォールディング、ひいては効率的な細胞内輸送および細胞表面受容体への結合に必要であると考えられます。、機能：顆粒球コロニー刺激因子 (CSF3) の受容体。さらに、細胞表面での接着または認識イベントにも機能する可能性があります。、類似性：I型サイトカイン受容体ファミリーに属します。タイプ2サブファミリー。、類似性：Ig様C2型(免疫グロブリン様)ドメインを1つ含みます。、類似性：フィブロネクチンIII型ドメインを5つ含みます。、サブユニット：ホモ二量体。二量体受容体は2つのCSF3分子に結合する。、組織特異性：骨髄性白血病細胞株KG-1、白血病細胞株U937、骨髄細胞、胎盤、末梢血顆粒球において、1つまたは複数のアイソフォームが見出されている。アイソフォームGCSFR-2は白血病細胞株U937にのみ存在する。アイソフォームGCSFR-3は胎盤で高発現している。、

研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;Jak_STAT;造血細胞系譜;癌における経路;

画像データ



G-CSFR ポリクローナル抗体を用いた SKOV3 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。